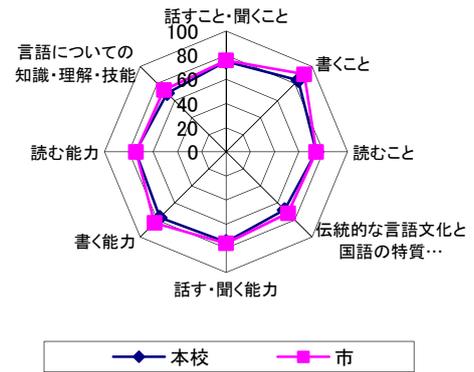


宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|----------------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 話すこと・聞くこと | 74.9 | 75.9 | 72.1 |
| | 書くこと | 84.1 | 91.0 | 79.2 |
| | 読むこと | 74.3 | 74.1 | 71.1 |
| | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 68.1 | 72.0 | 73.0 |
| 観点別 | 話す・聞く能力 | 74.9 | 75.9 | 72.1 |
| | 書く能力 | 77.2 | 83.3 | 72.2 |
| | 読む能力 | 74.3 | 74.1 | 71.1 |
| | 言語についての知識・理解・技能 | 68.6 | 72.5 | 72.8 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

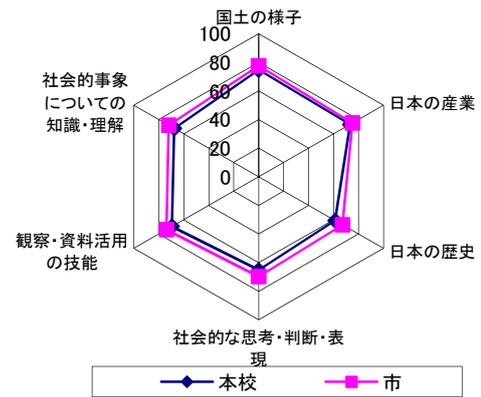
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|----------------------|---|--|
| 話すこと・聞くこと | <p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○相手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことはよくできている。</p> <p>●司会者の役割を理解して話し合いのテーマに合った発言をするように書くことは、正答率が低く、無解答も多い。</p> | <p>・話し合い活動を指導するときには、役割分担をはっきりさせ、どの役割も経験できるようにさせる。そのうえで、テーマを意識して話し合うようにさせ、それぞれの役割が話す内容を確認させる。</p> <p>・授業の中で、自分の考えをノートに書く活動を意識して取り入れ、諦めずに自分の考えを少しでも書けるようにさせる。</p> |
| 書くこと | <p>平均正答率は、市の平均正答率より低い。</p> <p>○自分の意見がAさんとBさんのどちらかに賛成かを書くことはよくできている。</p> <p>●記述問題だったので、全体的に無解答が市の平均よりも多い。</p> | <p>・作文を書く活動では、たくさんの題材を示し、その上で基本的な書き方を確認し、形式に合わせて書く練習を行う時間を少しでも取るようにする。</p> |
| 読むこと | <p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○登場人物の心情や、文と文との相互関係の読み取りはよくできている。</p> <p>●叙述に即した読み取りができていない。</p> | <p>・物語文の学習では、登場人物の心情を捉えるキーワードを見つけさせたり、物語がどのように展開していくのか確認する活動を取り入れるなどして、内容をしっかり理解できるようにさせていく。</p> <p>・各段落の要点をまとめたり、接続語や指示語から段落と段落のつながりを捉えたりする活動を重視し、確実に読み取れるよう指導していく。</p> |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | <p>平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。</p> <p>●漢字の読みも書きも無回答が市の平均よりも多い。また、敬語の使い方などもできていない。</p> | <p>・ドリルやプリントを活用して、既習漢字の復習をさせる。また、既習の漢字を日常生活でも正しく書くことを習慣化し定着を図っていく。さらに、板書や教科書を書写するなどの活動もたくさん取り入れる。</p> <p>・授業中だけでなく、学校の日常でも時や場、相手に合わせた話し方を意識させる。</p> |
| | | |
| | | |

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|-----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 国土の様子 | 74.8 | 77.6 | 77.6 |
| | 日本の産業 | 73.2 | 75.1 | 67.5 |
| | 日本の歴史 | 61.1 | 67.2 | 62.0 |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現 | 65.2 | 69.7 | 64.7 |
| | 観察・資料活用 の技能 | 69.4 | 73.8 | 68.5 |
| | 社会的事象についての知識・理解 | 67.6 | 72.0 | 67.7 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

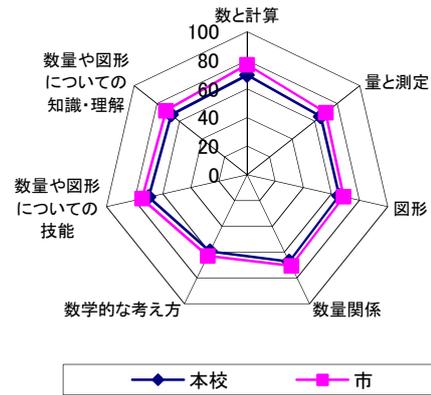
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-------|--|---|
| 国土の様子 | <p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○日本を通る台風の数を示したグラフについては、よく把握できている。</p> <p>●日本の周辺の国の国旗については、十分に理解できていない。</p> | <p>・日本や周りの国の細かな地形や位置について、地図帳で確認したり、国旗と関連づけさせて名称を覚えさせたりする。</p> |
| 日本の産業 | <p>平均正答率は、市の平均正答率と同程度である。</p> <p>○日本の工業の移り変わりについて、学習に適した資料を選択する設問は、市の平均正答率より高い。</p> <p>●野菜の産地表示や栽培方法についての知識をもとに、日常場面に即して判断することがあまり</p> | <p>・日本の食糧生産や工業生産についての問題点を確認したり、日常的に課題意識をもって考える体験を積み重ねたりさせる。</p> |
| 日本の歴史 | <p>平均正答率は、市の平均正答率より低い。</p> <p>○十七条憲法や元寇の理解はできている。</p> <p>●源平の戦いの時期の判断や豊臣秀吉の業績についての理解ができていない。また、書院造の特徴や文明開化前後の様子の変化などを記述する設問は、無解答が多い。</p> | <p>・復習のプリントを活用する。また、資料集などを活用し、多くの関連資料を目にする機会を確保する。</p> <p>・授業や単元のまとめでは、表現の活動を重視し、ノートや新聞などに記述する活動を多く取り入れる。</p> |
| | | |
| | | |
| | | |

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|-----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 数と計算 | 69.7 | 77.0 | 70.4 |
| | 量と測定 | 65.3 | 69.8 | 68.5 |
| | 図形 | 65.5 | 68.6 | 72.4 |
| | 数量関係 | 67.3 | 70.6 | 60.4 |
| 観点別 | 数学的な考え方 | 59.4 | 63.0 | 54.8 |
| | 数量や図形についての技能 | 70.1 | 74.7 | 67.3 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 67.4 | 72.0 | 74.9 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

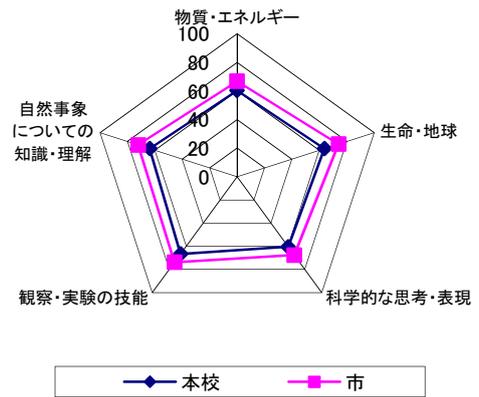
| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|------|---|--|
| 数と計算 | 平均正答率は、市の平均正答率より低い。 ○分数の乗法の計算はよくできていた。 ●小数や分数の除法の計算ができていない。また、図を使って文章問題に適した式を選ぶことができていない。 | ・小数や分数の計算練習を重点的に復習し、定着を図る。 ・普段の学習において、図や数直線の活用が大切であることを理解させるとともに、授業でも積極的に書く機会を増やすようにする。 |
| 量と測定 | 平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。 ●単位量当たりの考え方を使って、たまご一個当たりの値段の何倍かを求めることができていない。 | ・「単位量あたりの大きさ」の問題では、文章問題で書かれている内容を的確に把握し、何を求めるのかを理解させてから、基準となる単位当たりの量で比べることができるようにする。 |
| 図形 | 平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。 ○点対称な図形の対応する点を見つけることはできている。 ●円の半径から円周を求める式はできていない。 | ・公式についての復習をするとともに、円や円柱に関連して円周を求める問題に取り組む機会を増やす。 |
| 数量関係 | 平均正答率は、市の平均正答率よりやや低い。 ●比を使って、部分の量から全体の量を求めることができていない。 | ・比の考え方が使える文章問題では、図を用いて考えさせたり説明させたりして、比を使って立式できるようにさせる。 |
| | | |
| | | |

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 物質・エネルギー | 60.4 | 66.8 | 63.6 |
| | 生命・地球 | 63.7 | 74.0 | 75.3 |
| 観点別 | 科学的な思考・表現 | 60.4 | 67.6 | 65.0 |
| | 観察・実験の技能 | 66.7 | 73.8 | 70.4 |
| | 自然事象についての知識・理解 | 63.7 | 72.1 | 73.4 |
| | | | | |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|----------|---|---|
| 物質・エネルギー | <p>平均正答率は、市の平均正答率より低い。</p> <p>○5年生で学習した電流がうみ出す力については市の平均と同程度である。</p> <p>●空気中の気体の組成やこんろの炭をよく燃やす方法などが理解できておらず市の平均正答率より低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとデータをとることやデータの処理を指導したうえで、授業や単元のまとめでしっかり考察をして定着を図る。 ・経験したことをもとに実験方法を考えたり考察したりする機会を増やす。 |
| 生命・地球 | <p>平均正答率は、市の平均正答率より低い。</p> <p>●植物の水の通り道、酸素を多く含む血液、月の形の見え方、水溶液の性質からとけているものを推測することなどの理解ができていない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察が難しい学習内容については、模型や映像資料を使って視覚に訴えてイメージしやすくしたり、授業や単元のまとめでしっかり考察をして定着を図ったりさせる。 ・日常生活の中で、「どうしてだろう」や「なぜ」という疑問をもつ機会や理由を考える機会を増やし、授業に生かしていくようにする。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |